

3. 教育目標・ポリシー

1) 基本方針

本学は、キリストのみ心にかなう人間愛に満ち、地の塩としての徳性と、世の光となる知性をそなえ、確かな学問と技能により社会に貢献する女性を育成することを基本的な目的とする。

2) 教育目標

- (1) 神に愛された人としての自覚への指導、ボランティアやその他の社会貢献活動の実践、ひとりひとりが大事にされる少人数教育など、充実した学生支援を通じ、愛し合い助け合う態度と意欲を培う。
- (2) 現代的教養の修得をめざす共通教育と各学科の専門教育において、ICT（情報コミュニケーション技術）やアクティブラーニングを導入した教育、セミナー教育や初年次教育、学内外の実践的学修等の創意工夫を通して、確かな学識とすぐれた実践能力を育成する。
- (3) これからの地域社会を担うためのキャリア支援、学生の積極的な地域活動や国際交流活動への参画と協力、生涯学習の充実等を通して社会への積極的な貢献を行う。

3) ディプロマ・ポリシー（学位授与、卒業認定の基本方針）

「教育目標」に示した「愛し合い助け合う態度と意欲、実践力」や「確かな学識とすぐれた実践能力」を身につけ、「社会への積極的な貢献」を行う姿勢を重視し、各学科のディプロマ・ポリシーに基づいて卒業の認定、学位の授与を行う。

4) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の基本方針）

次のような方針に基づき、教育課程を編成する。

- (1) 2年間を通じて、人間性、専門性、実践能力を高める教育課程を編成する。
- (2) 共通教育科目は、カトリック精神を中心に、現代に生きる女性として必要な教養や実務能力、学外での社会貢献・国際交流活動等を通じて全人教育を行う目的から編成する。
- (3) 専門教育科目は、各学科の教育目標に沿い、必要な専門教育科目を充分に開設し、専門性と学生の自由な科目選択、各学科にふさわしい免許・資格を取得する課程を確保するよう編成する。

5) アドミッション・ポリシー（学生の受け入れの基本方針）

日々の学習や研究、学園の様々な活動に意欲的に取り組み、卒業後も地域社会がより豊かになるよう貢献する学生を求め、次のような学生像を求める。

- (1) 自らの目標に向かって学修意欲をもち、日々学習・研究に努力する学生
- (2) 他者への関心を広く持ち、思いやりと共感的理解を深めようとする学生
- (3) 自己の成長を広く社会に還元し、社会貢献を積極的に行う学生

6) アセスメント・ポリシー（学修成果の評価の基本方針）

学修の成果を可視化し、教育の改革・改善を恒常的に実施することを目的として、本学の3つのポリシーに基づく学修の成果を適切に評価するための基本方針であるアセスメント・ポリシーを定める。

アセスメント・ポリシーは、学生の入学時から卒業時までを視野に入れ、機関（短期大学）レベル、各科（教育課程）レベル、科目レベルの3つの区分ごとに、以下のような基本方針のもと、主要な評価指標（別記参照）を設定し、総合的かつ多面的に検証と評価を行う。

- (1) 機関（短期大学全体）のアセスメント・ポリシー

短期大学全体の学修の成果は、短期大学全体の入試実施状況や入学時のアンケート等、入学後の学生の学

修状況や学籍動向、学生生活への満足度等、さらには学位取得、卒業後の進路状況やアンケート等から、時系列的に学修の成果を測定・評価する。その全体的な傾向と推移を検証・評価し、全学的な教育研究体制や学生支援体制の改善に活用する。

(2) 各科（教育課程）のアセスメント・ポリシー

各科の学修の成果は、各科の入試実施状況や入学時のアンケート等、各科の卒業要件の達成状況や単位の修得状況、成績状況、各種の資格・検定試験等の合格状況、進路状況等の共通の評価指標と、各科が設定する「学習成果」に対応した評価指標に基づき、量的・質的に検証・評価する。各科の結果の傾向と推移を踏まえ、教育課程やFD活動等の改善に活用する。

(3) 科目ごとのアセスメント・ポリシー

各科目の学修の成果は、シラバスにおける「学修到達目標」に示した当該科目が担う「学習成果」について、学生授業評価の結果をはじめ、科目によっては学外実習の状況や各種検定試験の結果等を踏まえながら検証・評価する。また、シラバスにおける成績評価の基準の適切性を検証・評価し、各科目の授業改善に活用する。

【別記】

1. 機関（短期大学全体）レベルの主な評価指標

(1) アドミッション・ポリシーの検証と評価

- ① 入学試験の実施状況
- ② 入学時の広報部学生アンケート

(2) カリキュラム・ポリシーの検証と評価

- ① 各セメスターの単位修得状況及びGPAの傾向
- ② 退学・休学、留年の状況（各学年）
- ③ 学生生活満足度調査（1年次終了時及び卒業時）

(3) ディプロマ・ポリシーの検証と評価

- ① 最終の単位修得状況及びGPAの傾向
- ② 学位授与数、卒業率
- ③ 就職率、進学率
- ④ 卒業後調査等の結果

2. 各科（教育課程）レベルの主な評価指標（詳細は「各科の3ポリシーに対応した評価指標一覧表」を参照）

(1) アドミッション・ポリシーの検証と評価

- ① 各科の入学試験の実施状況
- ② 各科の入学時の広報部学生アンケート
- ③ 各科のAPに応じた独自の指標

(2) カリキュラム・ポリシーの検証と評価

- ① 各科の各セメスターの単位修得状況及びGPAの傾向
- ② 各科の退学・休学、留年の状況（各学年）
- ③ 各科の学生生活満足度調査（1年次終了時及び卒業時）
- ④ 各科の学生授業評価の結果
- ⑤ 各科の教育の実施状況や各種のアンケート結果
- ⑥ 各科の「学習成果」に対応した独自の指標による達成状況

(3) ディプロマ・ポリシーの検証と評価

- ① 各科の最終の単位修得状況及びGPAの傾向
- ② 各科の学位授与数、卒業率

- ③ 資格・検定試験等の取得率、合格率
- ④ 各科の就職率、進学率
- ⑤ 各科の卒業後調査等の結果

3. 科目レベルの主な評価指標

- ① 単位認定や成績分布
- ② 学生授業評価の結果
- ③ 学外実習の状況や各種検定試験等の結果
- ④ 相互参観やFD活動等による評価結果

7) 学生支援の基本方針

社会に貢献する態度と個性豊かな学生の育成を目指し、以下の3つの方針によって学生の学園生活全般を支援する。

- (1) 学生一人一人が存在感を感じ、健康に生活できるよう、教員のオフィス・アワー、クラス担任制およびセミナー制、保健室・学生相談の充実などを通じて支援する。
- (2) 生き生きとしたキャンパスライフの実現を、学生会活動やサークル活動、施設・設備の充実などを通じて支援する。
- (3) 就職・進学など卒業後の自己実現を、キャリア・ガイダンスの充実、きめ細かな個別相談などを通じて支援する。